

採用企業をどう発掘するか……???



第1次の就職試験でうまくいかなかった人が大分増えてきました。先日、幾つかの企業に電話をして求人予定があるかをお聞きしましたが、はじめから今年は予定がないとの回答を頂きました。就職支援員の唐澤さんも幾つかの企業を回っていただいておりますが、なかなかよい返事がもらえません。今後、もう少し求人する企業が出てくるのではと期待をしていましたが現実はなかなか厳しそうです。

日本の経済も少し上向いて来ているとはいえ、まだ先行きに不安要素が多く見通しが立たないために、各企業ともかなり慎重な見方をしているようです。そのために一向に求人が伸びてきません。学校としてももう少し企業開拓に努めたいと思いますが、必ずしも明るい展望が描けません。まして広範囲に及ぶこの地域の各企業の状況をつかみきれません。

まだ進路が決まらない皆さんは是非親や知り合い等とも相談し、「こんな会社があるかどうか」という情報を学校にお寄せいただきたいと思います。家庭で知人等を通じて直接企業に聞けない場合は、学校の進路でその企業に直接当たってみます。(但し一次でいっぱいになっている企業は無理です)。今はいろんなチャンネルを使って採用してくれそうな企業を発掘していかないと当面のこの難局を打開できそうにありません。学校だけではどうしようもないかもしれません。卒業式まで進路が決まらない生徒を出来るだけ少なくしたいと願っています。



ニート、フリーターは不利だ～！

就職戦線が大変厳しい状況にあり、場合によればフリーターやニートになればいいやと思っている人も出てきているかもしれません。しかしかつてのように景気が右肩上がりの時代は、フリーターやニートであってもやがて正式な就職にありつくことも可能でした。今のように経済的に厳しい時代になると、一度フリーターやニートになった人が、正規の職に就こうと思っても簡単に就職の道が開けません。学卒者の就職がこれほど厳しくなっているときに、よほどのウリがある者でない限り、企業では何年も履歴書が空白になっている者を簡単には採用してくれないでしょう。日本はかつてのような右肩上がりの時代が再びやってくることなく益々厳しい時代となるでしょう。

若いときはそれでもよいですが、やがて家庭を持つとしたとき定職に就いていないと、家族を養うことが出来ません。生活が安定しない状況では家庭を持つことは出来ません。その時になれば何とかなるだろうなどという思いは絶対に通用しません。子供の出産・育児には相当のお金がかかるものなのです。

また将来の年金という面でも、企業に正規に就職をせずアルバイト等で食いつないでいた場合、年をとってからその間の年金がもらえなくなります。若いときは年金なんてと思うかもしれませんが、年をとり体が思うようにならず、収入が無くなり経済的に不安定となったのでは大変なことになります。

やはりニートやフリーターは不利となり、出来るだけ避けた方がよいですね。そのために何とか卒業までに就職先を決めたいものです。